



富士山、世界文化遺産に登録へ

このたび富士山が「信仰の対象と芸術の源泉」として世界遺産に登録されたことを意義深く思います。

私達は四百五十年間、富士山そのものを神様として崇めて参りました。すなわち御山に登ることは神様の懐に我身を委ねることであり、神様と大自然の中で生かされている我身を実感することです。世界遺産となっても、私達の祈りのかたちと毎日が変わりません。

御開祖角行様が表示された「天地平安・萬人安福・他が為に祈る斯の道」を心願に、今年も多くの登山者の皆様の安全と世界の平和を祈り続けます。

神道扶桑教第六世管長 宍野 史生



管長殿 人穴神社大祭に参列

七月七日人穴神社（富士宮市）の大祭に管長が参列しました。人穴は御開祖角行様のご修行された霊地です。

周りには角行様の墓や角行様を慕った富士講先達たちの墓があり、世界遺産の構成遺構にもなっていて最近では参拝の方が増えたそうです。

私たちにとっても尊い御霊地であります。現在も人穴地区の住民の皆さまにより大切に護られています。

【霊地「人穴」の資料】



富士の溶岩洞穴の一つで、主洞は高さ1・5m、幅3m、奥行き約九十m。最奥からさらに細い穴が伸びており、神奈川県江ノ島に通じるとの伝説もある。江戸時代には富士山信仰の修行の場となっていた聖地で、開祖角行師が修行され、入定された。現在は、崩壊の恐れがあり入洞禁止。



開山御神火大祭齋行

六月三日富士吉田市の扶桑教元祠（本教立教の聖地）で開山御神火大祭を齋行いたしました。

本年は富士道第六世食行身祿様が享保十八年七月十三日富士山八合目烏帽子岩（現在の天拝宮）で三十一日間の断食修行を修め即身入定されてより二百八十年を迎える遠忌にあたります。

三年前より整備を進めておりました元祠にて、富士吉田の皆さまや北口御師の皆さまの御協力を受け齋行されました。

当日は、晴天に恵まれ大勢のご参拝の皆様を迎えました。特に富士吉田の地元の皆様はじめ北口御師の先生方や富士山山小屋の皆様は大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

開山御神火大祭の様子を写真にてご紹介させていただきます。



■行列は富士吉田の御師街を進みます



■北口御師 小佐野家を出発した御神實（御神体）と行列



■御神實は元祠に着到し、本殿内陣に奉安されました



■開式にあたり富士山大鳥居式年大修理への奉賛金を北口本宮浅間神社宮司 上文司 厚様へ贈呈しました



■九字秘法



■四方清祓いの弓による墓目（ひきめ）神事